

【カメラを作るぞ】プロジェクト

2023年4月26日

事前チェック

1. ino ファイルを作成する。
2. スケッチ例(ESP32->camera->cameraWebServer) の cameraWebServer.ino
app_httpd.cpp
camera_index.h
camera_pins.h
をコピーする。
3. PSRAM について検討する。
外部に SPI 接続の PSRAM を用意しないとイケなさそう。
IPS6404 というもの。
Mouser に APS6404L-3SQR-SN (互換) があった。
4. camera_pins.h を参考に回路図を作ってみようとするが、
PSRAM のピン割り当てがない。
また、カメラの書類によってピン番号がかなり異なる。
5. 秋月電子で ESP-EYE が 2980 円で販売していた。
これなら、基板を起こすまでもないか。
だけど、これだと外部 I/O が使えない。カメラで使っている I2C を
使えばいいかも。
でも、ピンがでていない。
6. 秋月電子で販売している ESP32-S3-WROOM-1-N16R8 なら
内部に PSRAM を内蔵してさらに USB ポートもあり、
I/O もだいぶ増えている。
ESP32-WROVER-B も内部に PSRAM を内蔵しているが、
ディスコンになっているし、古い。
7. カメラは OV2640 にする。日昇で、600 円くらいで販売している。



秋月電子通商

WiFi モジュール ESP32-S3-WROOM-1-N16R8

[ESP32-S3-WROOM-1-N16R8]

商品コード: M-17256
発売日: 2022/05/06
メーカーカテゴリ: Espressif Systems (Shanghai) Pte., Ltd.

WiFiとBluetoothが一つのモジュールに搭載されたワイヤレスモジュールです。SPI, UART, I2C, I2S, PWM, GPIO, SDIO, ADCコンバータなど、多彩なインターフェースが内蔵されています。モジュールは工場設計保証 (従来/ELEC)番号を登録済みですので安心してお使いいただけます。

- MCU: ESP32-S3シリーズ320c内蔵Xtensa超高性能デュアルコア32ビットCPU(max@240MHz)
- メモリ: ROM384KB, SRAM512KB, SPIFlash10MB, PSRAM8MB
- 拡張機能: 92.1Mbps, Bluetooth LE(Bluetooth 5, Bluetooth mesh)
- GPIO: 最大36(機能兼用あり)
- GPIO機能1: SPI, LCD, UART, I2C, I2S, カメラインターフェイス
- GPIO機能2: モータコントローラ, ialisコントローラ, LED PWM
- GPIO機能3: USBシリアル/JTAGコントローラ, MCPWM, S2Dホスト
- GPIO機能4: タイマ, ウォッチドッグタイマ, USB1.1 On-The-Goインターフェイス
- 電源電圧: 3.0~3.6V
- 動作温度範囲: -40°C~65°C
- 寸法: 18mm x 25.5mm x 3.1mm
- 工場設計保証(検索番号): 201-220052

データシート
https://www.espressif.com/files/default/files/documentation/esp32-s3-wroom-1-wroom-1u_datasheet_en.pdf

¥530 (税込)



68度視角

OV2640カメラモジュール (200万画素、DVP I/F、68度/120度/160度視角)

価格: 600円 (税込 660円) ~ 950円 (税込 1,045円)

[ポイント還元 6ポイント~]

視角: 68度

価格と在庫を一覧で確認する

価格: 600円 (税込 660円)

購入数: 1 個

カートに入れる

在庫を見る

回路検討

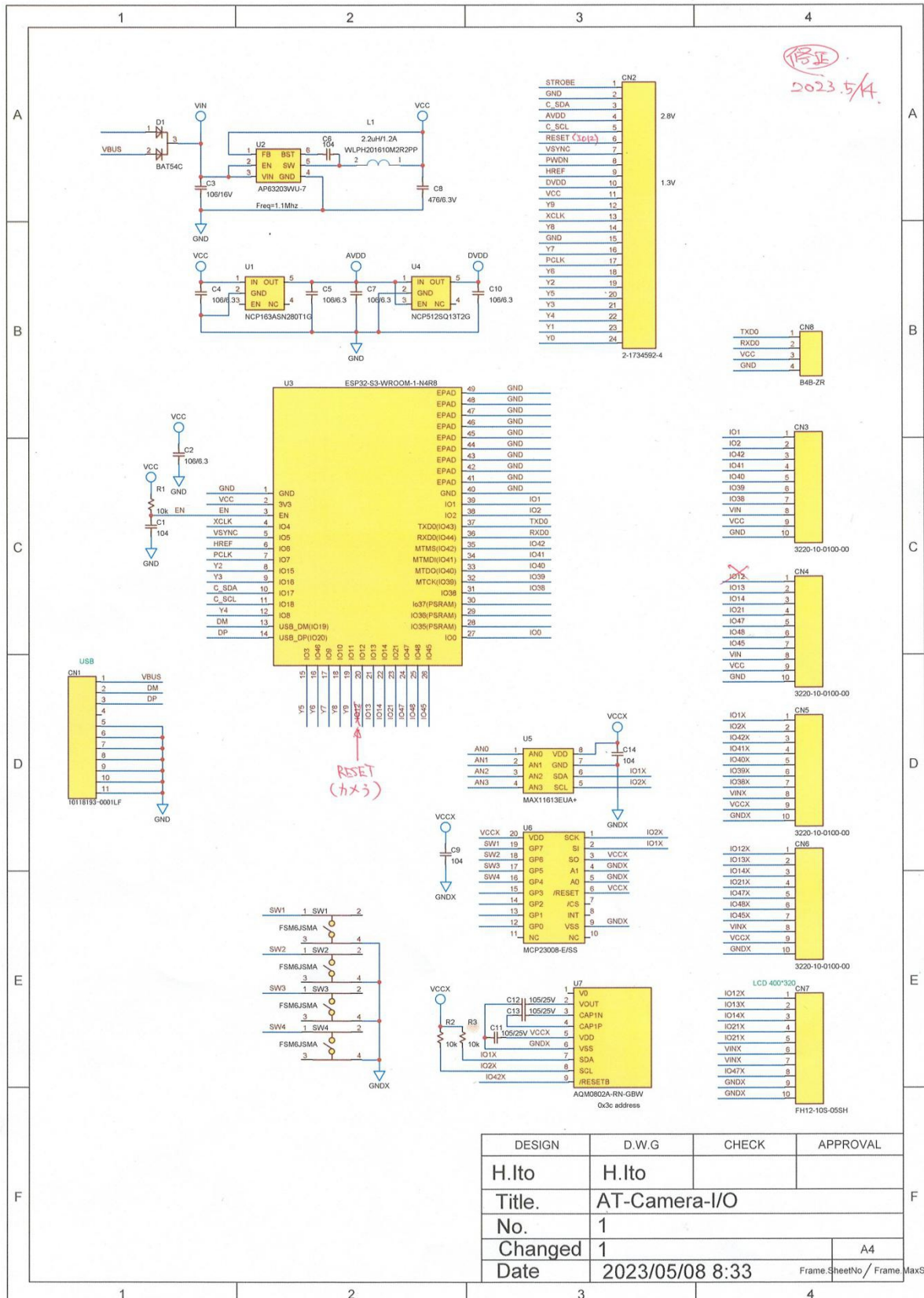
1. カメラとのインターフェースのピン番号を変更できるのか。
 1. I2C はたぶん問題なし。
 2. XCLK, VSYNC, HREF, PCLK は…できるらしい。
 3. Y2-Y9 は…できるらしい。
 4. RESET は必要か…あればいい。

ESP32S3 Technical Reference Manual の

Table 62. Peripheral Signals via GPIO Matrix によれば
各入力信号、出力信号は 48 本の GPIO ピンに配置できるらしい。
たとえば、CAM_DATA_in0-15 はピン番号を設定できるようです。

2. カメラの電圧は2電源で2. 8V と 1. 3V を用意する。
 1. 3V の方は、1. 2V だったりする回路もあるが、とりあえず 1. 3V。
RESET はつながないで、後でジャンパできるようにした。
I/O も使えるのを確認するため、LCD (I2C と SPI) 、拡張 I/O, 拡張 A/D を
用意してみる。スイッチも 4 個配置。

回路図：

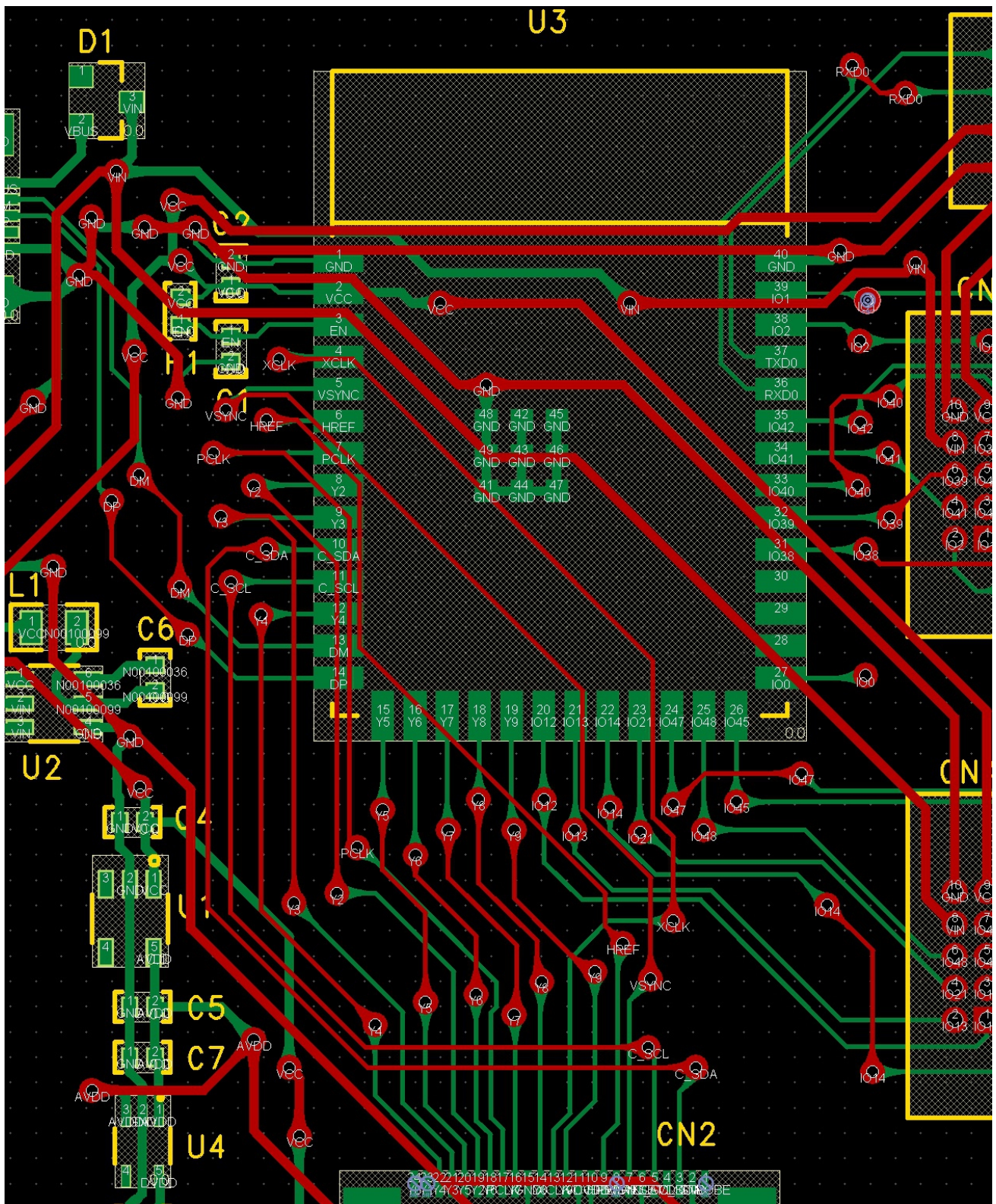


修正
2023.5/14

RESET
(カ×3)

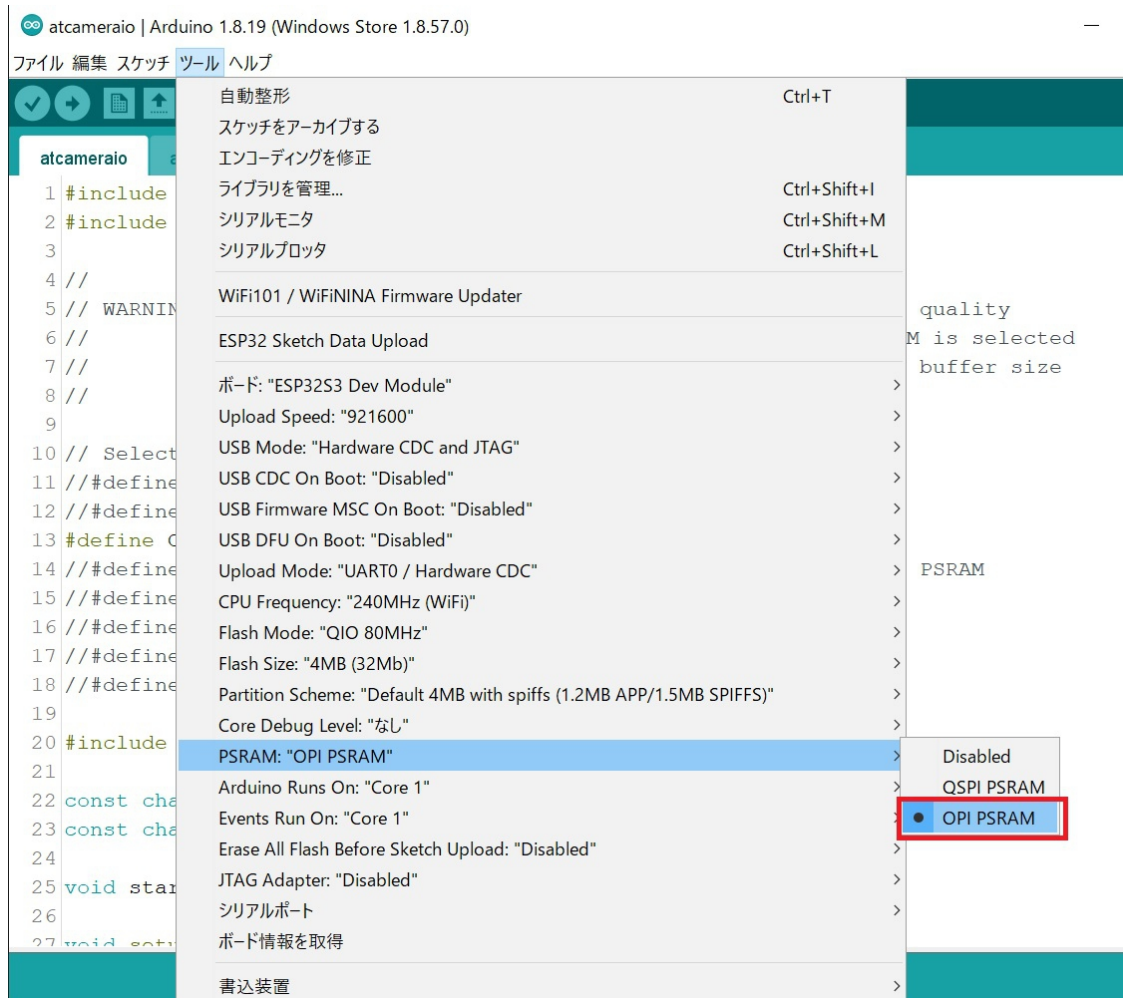
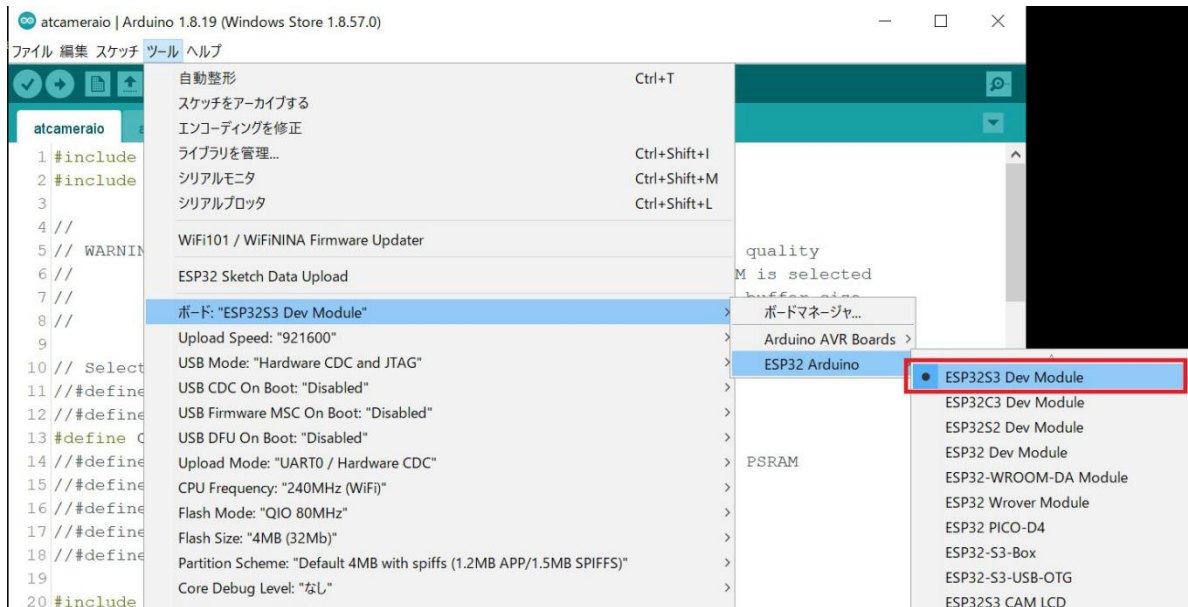
LCD 400*320
CN7
FH12-105-05SH

基板上的信号位置：



デバッグ：（2023年5月15日～）

1. カメラ用 RESET 信号はつながないと動作しなかった。
（ただし、カメラの種類は M5STACK にて）
2. ArduinoIDE の設定で S3 を選択、PSRAM も選択する。

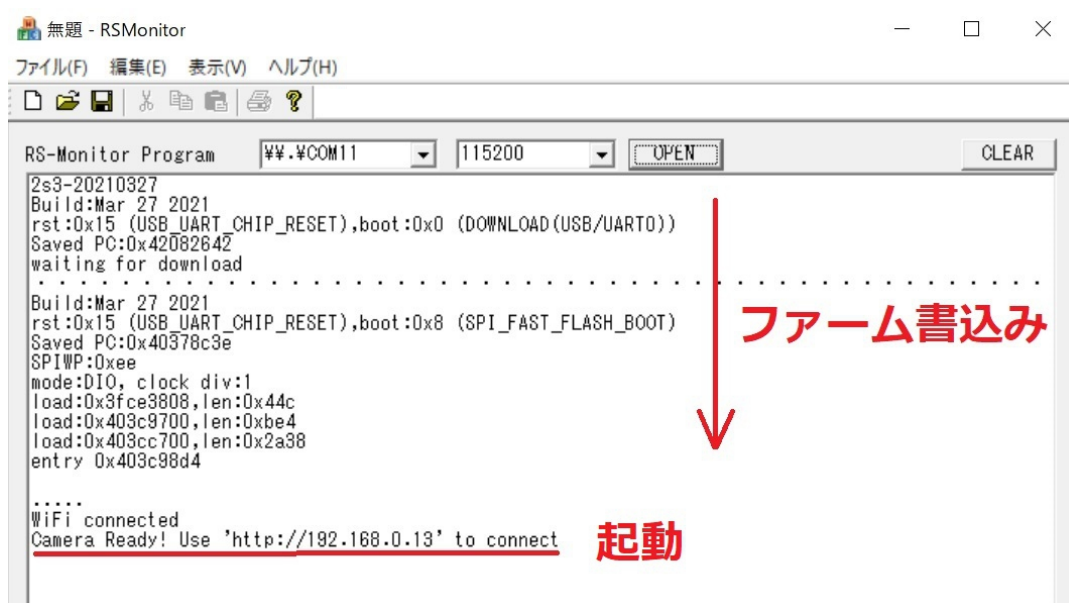


3. 書き込みと起動

書き込みは USB ポートから可能です。

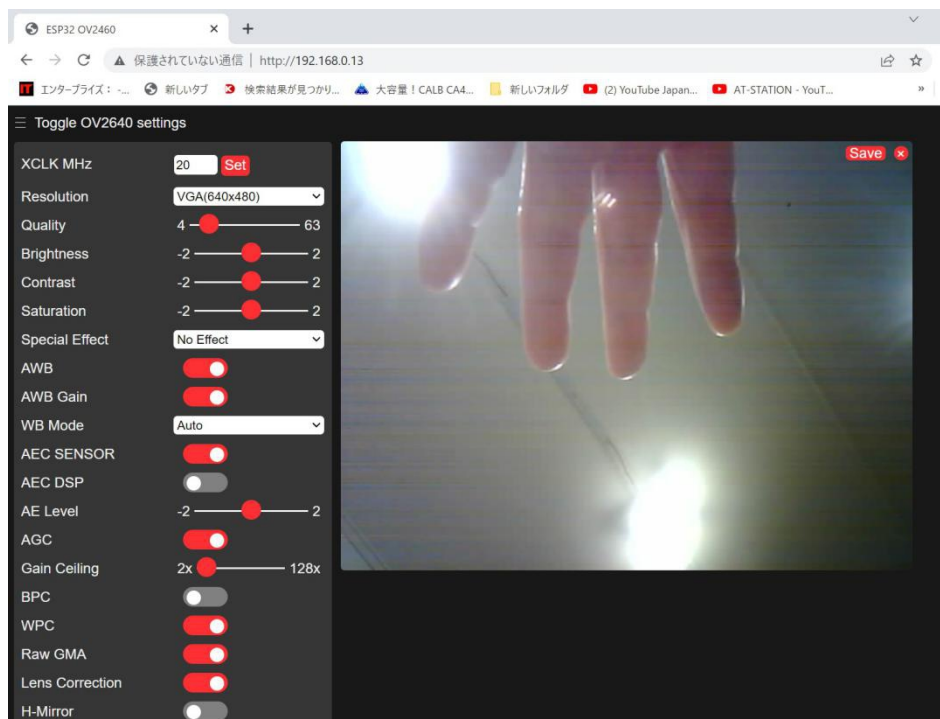
ただし、モニター出力 (RS232C)は RXD0, TXD0 を使うのでそちらにモニター用の受信ポート (アプリも) を使う。

下記は 書き込みと起動をモニターしたもの。



SSID とパスワードを書き込んであるので、WiFi に繋がって、カメラが起動。

4. ブラウザで表示させた状態



5. 確認のため、CAMERA_MODEL_ESP_EYE を選択して書込みを実行したところカメラも起動しなければ、その後 ファームの書込みに途中（54%）で失敗するようになった。

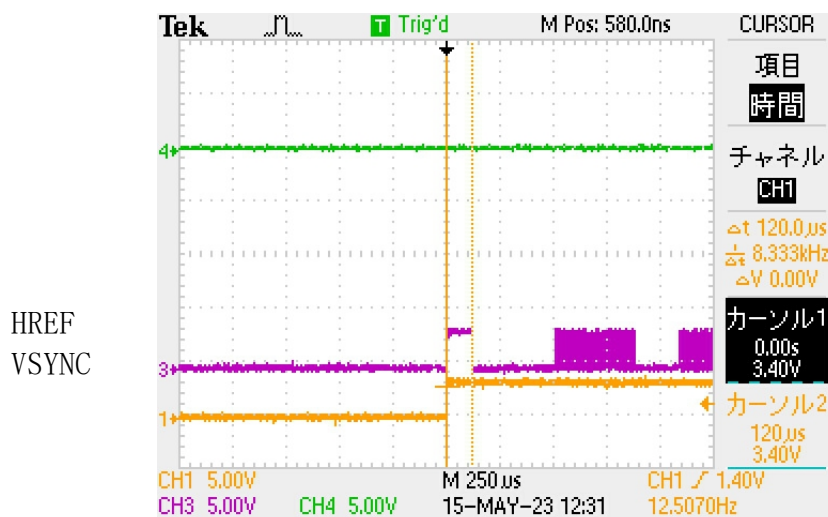
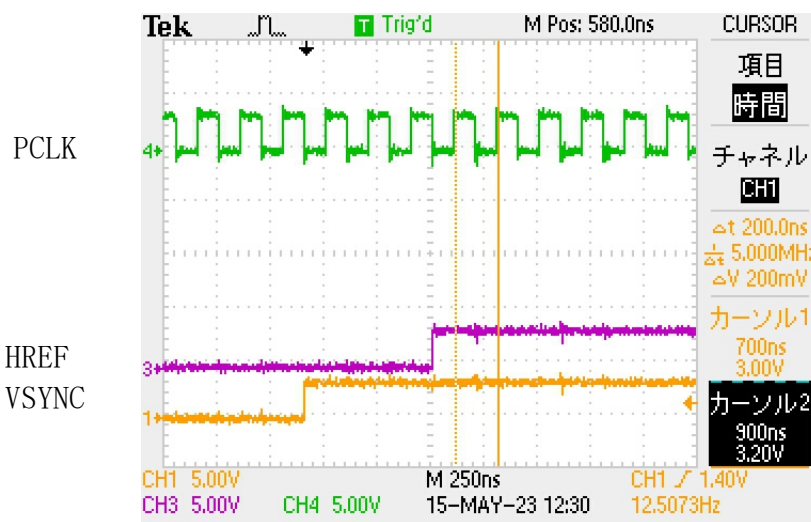
対処：GPIO0 のポートを GND におとし、RXD0, TXD0 のポートを使って書込みなおしたらもどに戻った。

CAMERA_MODEL_ESP_EYE を使ってはいけない様子。

6. HREF が正常でない？

ではなく、これは JPEG データを受けとっている状況でした。

カメラ OV2640 内部で、JPEG 変換をしてそのデータを送っているためでした。先頭の HREF 以外は HREF と PCLK の AND で、データを吸い上げているものと思われる。



XCLK =
PCLK = 5MHz

20MHz

7. XCLK を変更してみる。

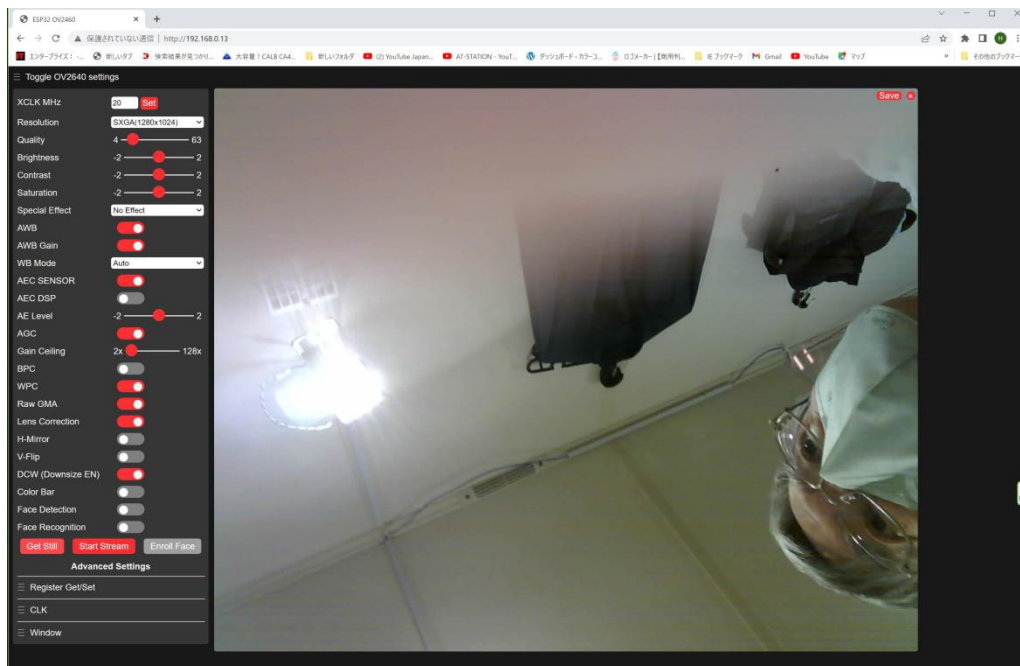
20Mhz... キャプチャーが止まる。安定していない。

30Mhz... キャプチャーが止まらないが画像に筋がはいる。

640X480 以下では ヨコシマ、それ以上ではタテシマ

10Mhz... きれいにキャプチャーできる。安定もしている。ただ、少し遅い。

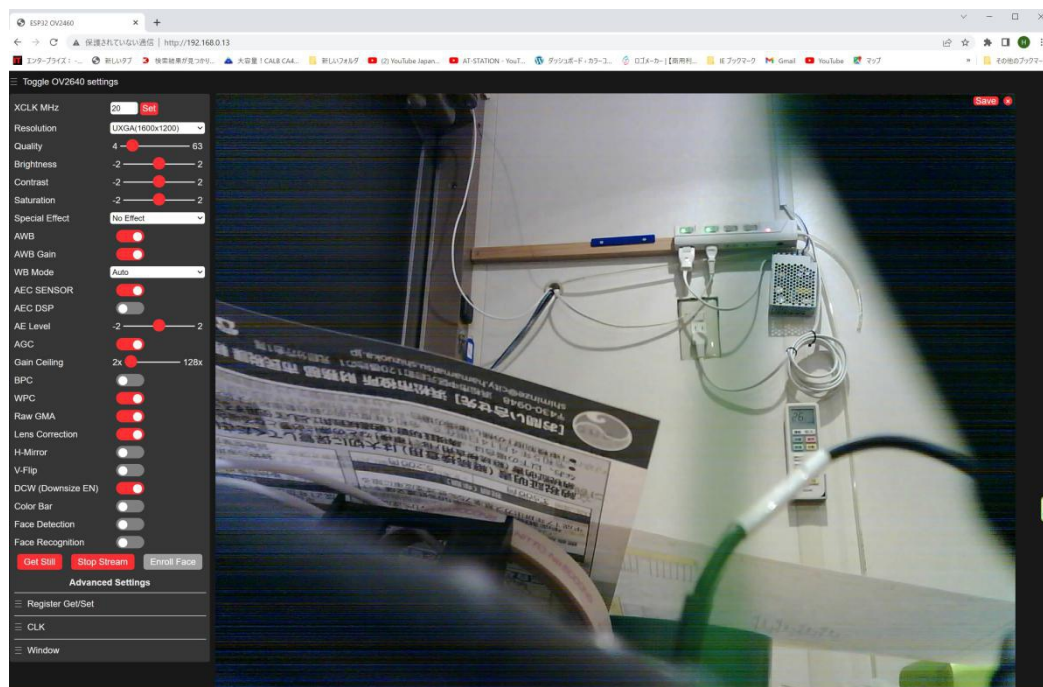
以下は 10Mhz 時の画像 (1280 X 1024)



クロックを 14Mhz にしたところ、アクセスも安定してきた。

ただ、暗いところ、ヨコシマが目立つような気もす。

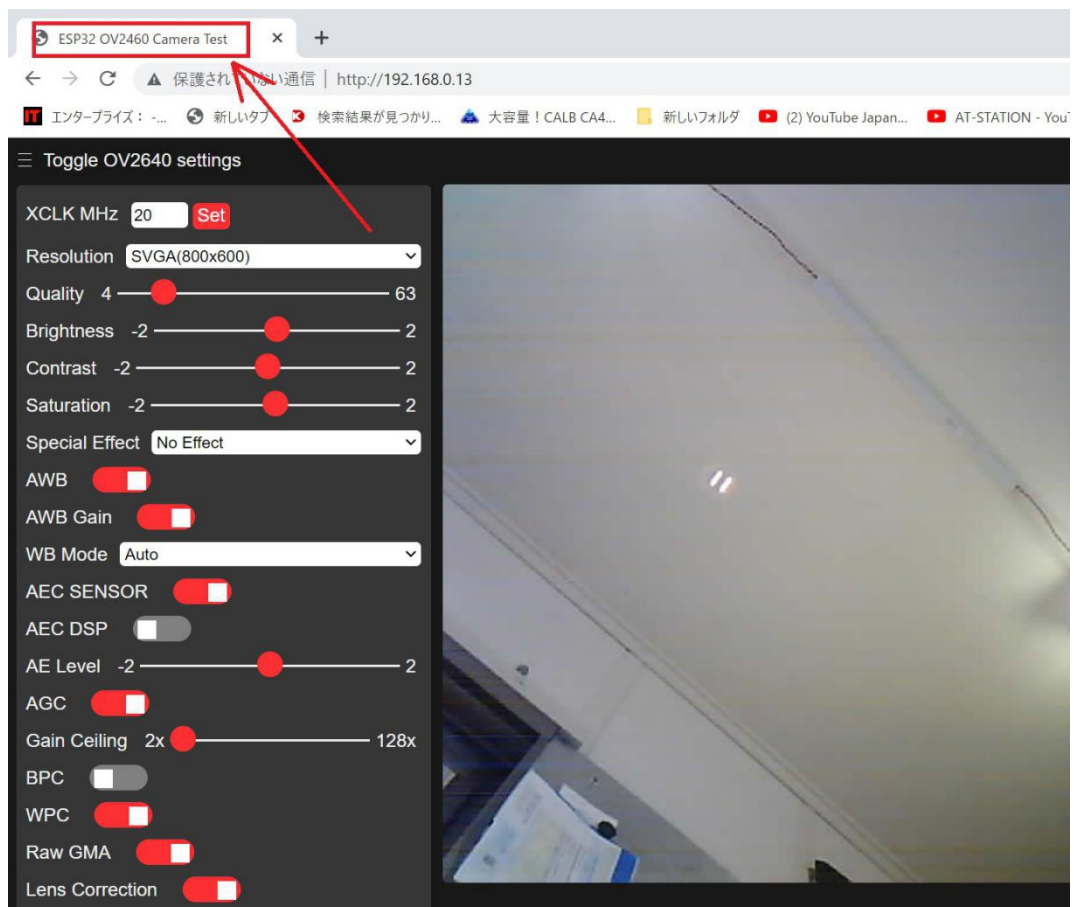
以下 14Mhz 時の画像 (1600 X 1200)



8. ファーム改造方法

ファームを変更するにあたって、確認したことを列記する。

1. Html 言語で 192.168.0.13 にアクセスすると、html(javascript を含む) をよみこむ。この html データは 圧縮して camera_index.h にはいつている。圧縮してあるので、修正は不可。
なので、ブラウザで表示させたときに、「検証」モードでソースを確認し、それをコピーして使用する。
2. カメラは OV2640 の他、2機種に対応しているが、そちらは削除しておく。
3. html のサイズは45kほどあった。これをブラウザでコピーし、それを送ることにしたところ、下記の画面となった。スタイルがいまいちではあるが動作には問題なさそう。これで進める。矢印は変更したところ。



45kのhtmlではさすがに多すぎるのでhtml, style, jsに分けることに。

9. ファーム改造 (2023年5月16日)

App_httpd.cpp の中を下記のように、index.html, style.css, index.js をアクセスできるようにする。

```
httpd_uri_t index_uri = {  
    .uri = "/",  
    .method = HTTP_GET,  
    .handler = index_handler,  
    .user_ctx = NULL};  
httpd_uri_t style_uri = {  
    .uri = "/style.css",  
    .method = HTTP_GET,  
    .handler = style_handler,  
    .user_ctx = NULL};  
httpd_uri_t java_uri = {  
    .uri = "/index.js",  
    .method = HTTP_GET,  
    .handler = java_handler,  
    .user_ctx = NULL};
```

(途中省略)

```
httpd_register_uri_handler(camera_httpd, &index_uri);  
httpd_register_uri_handler(camera_httpd, &style_uri);  
httpd_register_uri_handler(camera_httpd, &java_uri);
```

以上、トライしたが、style.css だけは読み込まれても認識しなかったので Index.html の中に埋め込むことにした。

いろいろ削除してこんな画面までにはきました。

